

SDGsへの取り組み

りゅうぎんグループSDGs宣言

— 01 —

金融グループとしての責任

りゅうぎんグループは、グループ連携を通じて円滑に金融仲介機能を発揮するとともに、顧客本位のビジネスモデルを構築・実現し、地域経済の持続的な発展に貢献します。

— 02 —

地域社会の持続可能性の確保

りゅうぎんグループは、性別、国籍、障がいの有無、経済的な格差等による不平等をなくし、持続可能な地域社会を実現するため、地域社会の課題に向けた施策を継続的に実施します。

— 03 —

地球環境保護への貢献

りゅうぎんグループは、地域の持続可能性確保の前提として地球環境の保護が重要との認識のもと、地球温暖化の抑止や自然環境・生態系保護のための活動を積極的に行います。

01 地域経済活性化への取り組み

◆新産業の創出

M&Aを活用した事業承継支援／キャッシュレス化の推進

沖縄県内事業者のM&Aを活用した事業承継支援を積極的に取り組んでいます。後継者不在および人材不足の課題を抱えた事業者や新たな事業展開を目指している事業者など、双方の課題解決に向けた支援を行い、円滑な事業承継を実現しています。

また、キャッシュレス化の推進として、2022年8月にはジョルダン株式会社(代表取締役社長 佐藤 俊和)と「沖縄県内における電子チケット取扱推進に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、両者での緊密な相互連携と協働により、沖縄県内における電子チケットの取り扱いを推進し、沖縄県の観光振興、観光客および沖縄県民の利便性向上をはかることを目的としています。



M&Aによる事業承継調印式



沖縄県内における
電子チケット取扱推進に関する連携協定

◆文化振興

りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

伝統文化支援事業として、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品は、琉球銀行がお客様に配布するカレンダーや通帳、広告物等に幅広く活用されます。

また、2019年度より600年以上の歴史がある漆芸の技術の伝承を支援することを目的に「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。

今後も沖縄の伝統文化の伝承に貢献できるよう、積極的に支援活動を展開してまいります。



第31回りゅうぎん
紅型デザインコンテスト 表彰式



りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業
完成作品報告会



02 地域社会および 職場における平等の確保



◆ 地域支援

りゅうぎんユイマール助成会

毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成している「りゅうぎんユイマール助成会」では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、「一般公募助成金」や「子ども居場所づくりイベント事業助成金」など多くの事業に対し、助成を行っています。これまでの助成件数・金額は1,365件、約2億3,854万円となりました。

(2022年9月30日現在)



りゅうぎんユイマール助成金
一般公募



子ども居場所づくり
イベント事業助成金

◆ 教育支援

第18回りゅうぎんキッズスクール

毎年夏休み期間中に、小学生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。18回目となる今年度は、SDGsを楽しく学べる自然体験教室を開催しました。

100種類もの動植物が確認されている森を探索しながら、体験を通じて森の生物多様性について学び、森の先の海では世界的に問題となっているマイクロプラスチックや海洋ごみ問題をはじめ、海の環境について学ぶプログラムを実施しました。



ホコホローの森



ぐしちゃん浜

03 地球環境保護のための 具体的な行動



◆ 省エネへの取り組み

浦添支店・牧港支店、北谷支店、具志川支店にて「ZEB Ready」の認証取得

国土交通省公示に基づく第三者機関より「ZEB Ready」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル・レディ(ゼブレディ))の認証を受けました。

建物のエネルギー消費量をゼロにするには、大幅な省エネルギーと、大量の創エネルギーが必要です。当該認証制度では、ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズ※が定義されています。

※ZEBシリーズ
ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、
ZEB Orientedの4段階



浦添支店・牧港支店



具志川支店



北谷支店

◆ 自然環境・生態系保護

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に基づく情報開示

2022年5月に「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に基づく情報を開示しました。

【開示内容】

1 ガバナンス

- 気候関連等の問題に対応するガバナンス体制

2 戦略

- 琉球銀行の重要課題(マテリアリティ)
- 重要課題(マテリアリティ)の関係整理
- 2021年度、環境問題に対する新たなサービスや琉球銀行内の取り組み状況

3 リスク管理

- 気候変動に関するシナリオ分析
- 移行リスク関連資産割合
- 組織におけるリスクの特定・管理方法等

4 指標と目標

- 琉球銀行におけるScope 1・2 GHG(温室効果ガス)排出量と削減目標
- 琉球銀行におけるScope 3 GHG(温室効果ガス)排出量

詳しい内容はホームページに掲載しています。
<https://www.ryugin.co.jp/common/uploads/TCFD202105.pdf>

